



証券コード:7840

フランスベッドホールディングス株式会社

**平成27年3月期決算説明会 ならびに  
中期経営計画について**

**平成27年5月29日**

<http://www.francebed-hd.co.jp/>



FRANCEBED HOLDINGS

- I・平成27年3月期決算概況および  
来期(平成28年3月期)の業績見通し
- II・中期経営計画骨子

取締役経理グループ担当 島田 勉

- III・中期経営計画の主な戦略について

代表取締役社長 池田 茂

- IV・質疑応答

**I・平成27年3月期決算概況および  
来期(平成28年3月期)の業績見通し**  
取締役経理グループ担当 島田 勉

平成27年3月期 連結決算のポイント

**平成27年3月期 連結決算**  
**売上高 前年比 $\Delta$ 5.4%**  
**当期純利益 前年比 $\Delta$ 35.2%**

**【主な要因】**

- ✓ **消費税増税後の反動減による影響**
- ✓ **介護関連レンタル部門は堅調に推移したものの、病院施設部門は診療報酬改定に伴い新規物件が減少した影響で低調**

## 平成27年3月期 連結決算の概況

(百万円)

	平成26年3月期 (H25.4~H26.3)		平成27年3月期 (H26.4~H27.3)				前年 同期比 増減率	修正 計画 達成率
	実績	構成比	修正計画	構成比	実績	構成比		
売上高	54,891	100.0%	53,600	100.0%	51,907	100.0%	△5.4%	96.8%
売上原価	30,151	54.9%	—	—	27,891	53.7%	△1.2P	—
売上総利益	24,739	45.0%	—	—	24,015	46.2%	△2.9%	—
販管費	21,939	39.9%	—	—	22,291	42.9%	1.6%	—
営業利益	2,799	5.1%	2,200	4.1%	1,723	3.3%	△38.4%	78.3%
営業外収益	167	0.3%	—	—	202	0.3%	20.5%	—
営業外費用	182	0.3%	—	—	180	0.3%	△1.2%	—
経常利益	2,784	5.0%	2,200	4.1%	1,745	3.3%	△37.3%	79.3%
特別利益	0	0.0%	—	—	173	0.3%	—	—
特別損失	206	0.3%	—	—	28	0.0%	△86.4%	—
税引前利益	2,578	4.6%	—	—	1,890	3.6%	△26.6%	—
税金費用等	1,180	2.1%	—	—	986	1.8%	△16.4%	—
当期純利益	1,397	2.5%	1,000	1.8%	904	1.7%	△35.2%	90.4%

■ 1株当たり当期純利益 4.22円

※ 平成27年3月期の修正計画は、平成26年10月23日に開示した修正業績予想の数値となります。

## 平成27年3月期 セグメント別の決算概況

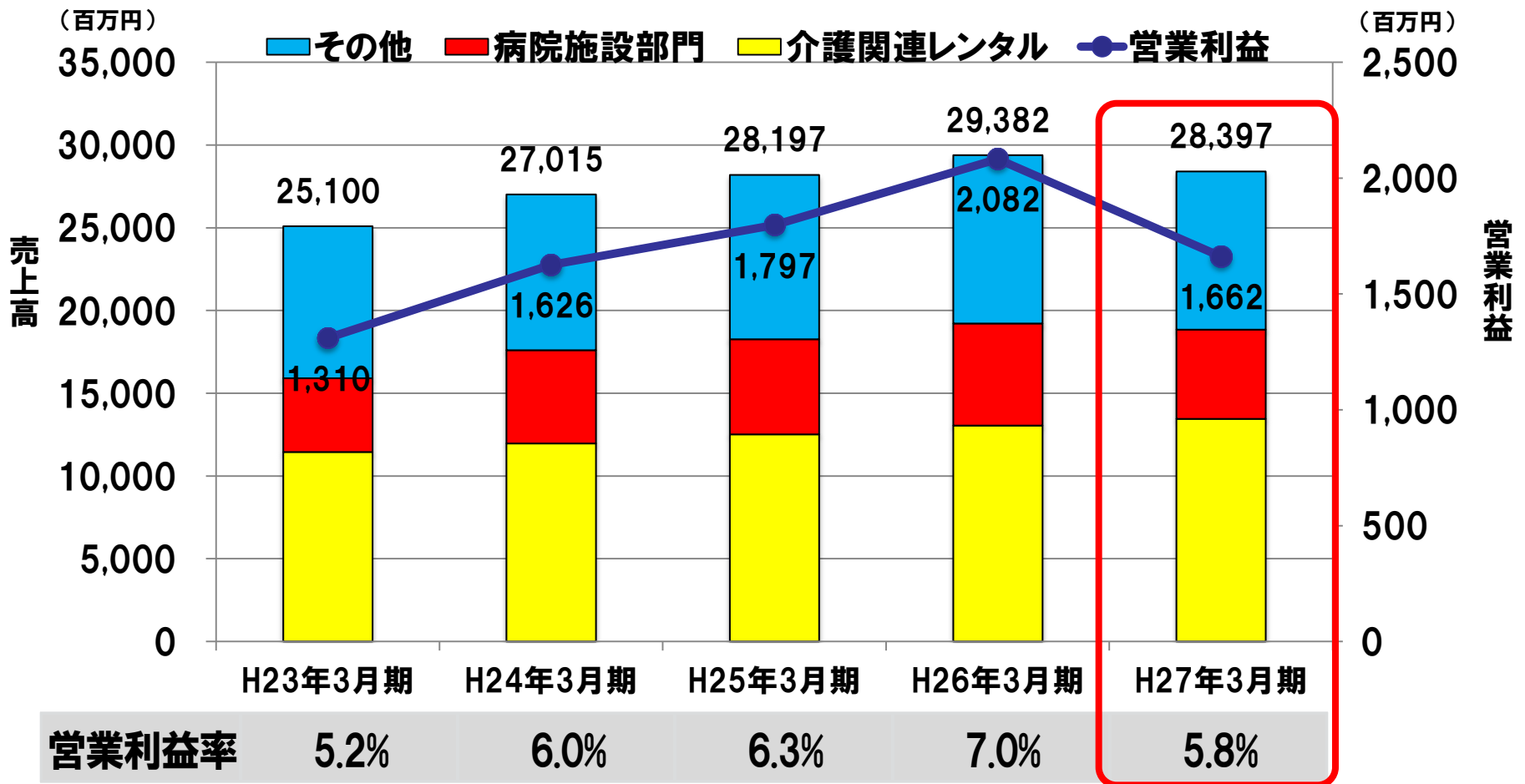
## ■ メディカルサービス事業、インテリア健康事業ともに減収減益

(百万円)

		平成26年3月期		平成27年3月期				前年 同期比 増減率	修正 計画 達成率
		実績	構成比	修正 計画	構成比	実績	構成比		
メディカル サービス事業	売上高	29,382	53.5%	29,400	54.8%	28,397	54.7%	△3.3%	96.5%
	営業利益	2,082	74.3%	1,880	85.4%	1,662	96.4%	△20.1%	88.4%
インテリア 健康事業	売上高	21,672	39.4%	20,800	38.8%	20,000	38.5%	△7.7%	96.1%
	営業利益	726	25.9%	300	13.6%	99	5.7%	△86.2%	33.2%
その他	売上高	3,835	6.9%	3,400	6.3%	3,508	6.7%	△8.5%	103.1%
	営業利益	△32	△1.1%	0	—	△66	△3.8%	—	—
調整額	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	23	0.8%	20	0.9%	28	1.6%	23.2%	143.6%
合計	売上高	54,891	100.0%	53,600	100.0%	51,907	100.0%	△5.4%	96.8%
	営業利益	2,799	100.0%	2,200	100.0%	1,723	100.0%	△38.4%	78.3%

メディカルサービス事業 業績概況

業績推移

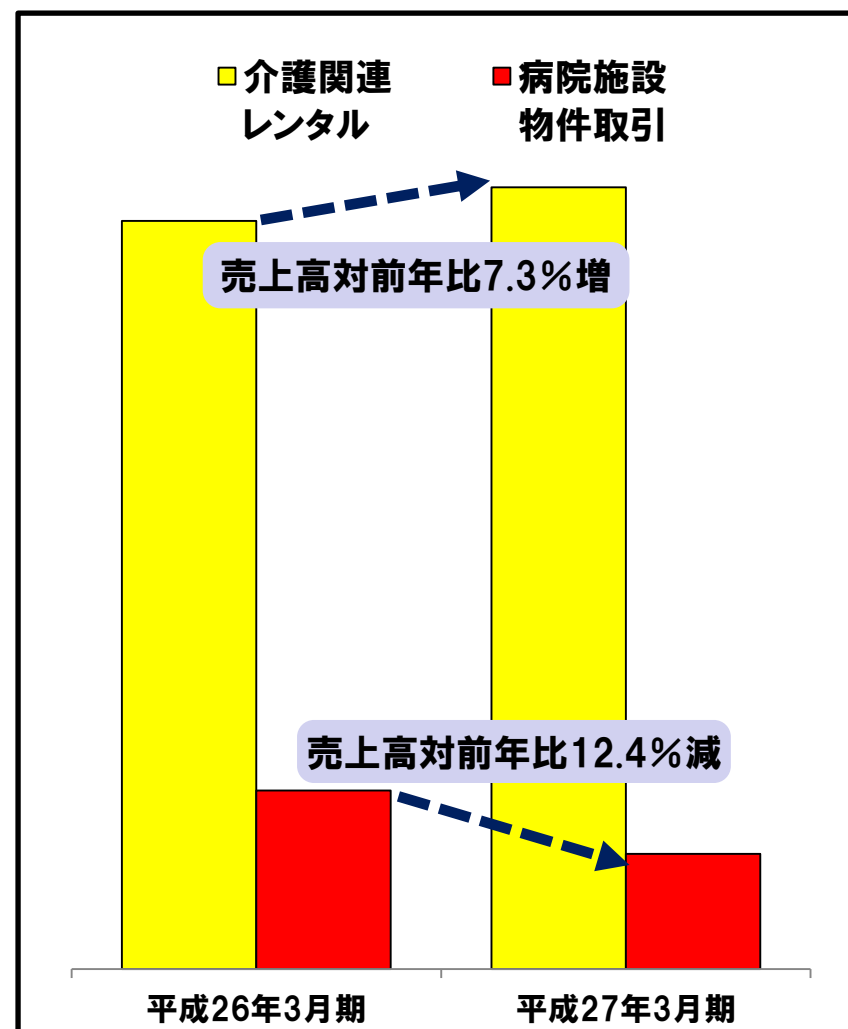
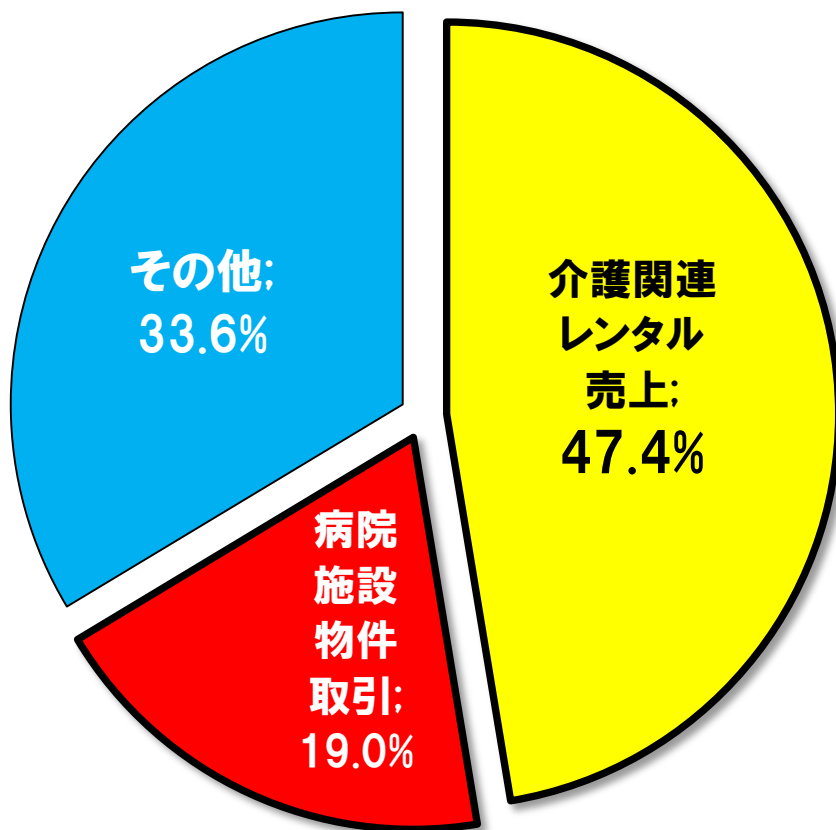


売上高、営業利益ともに前年同期比減

## メディカルサービス事業 業績概況

### 「介護関連レンタル売上」と「病院・施設向け物件取引」の対前年比較

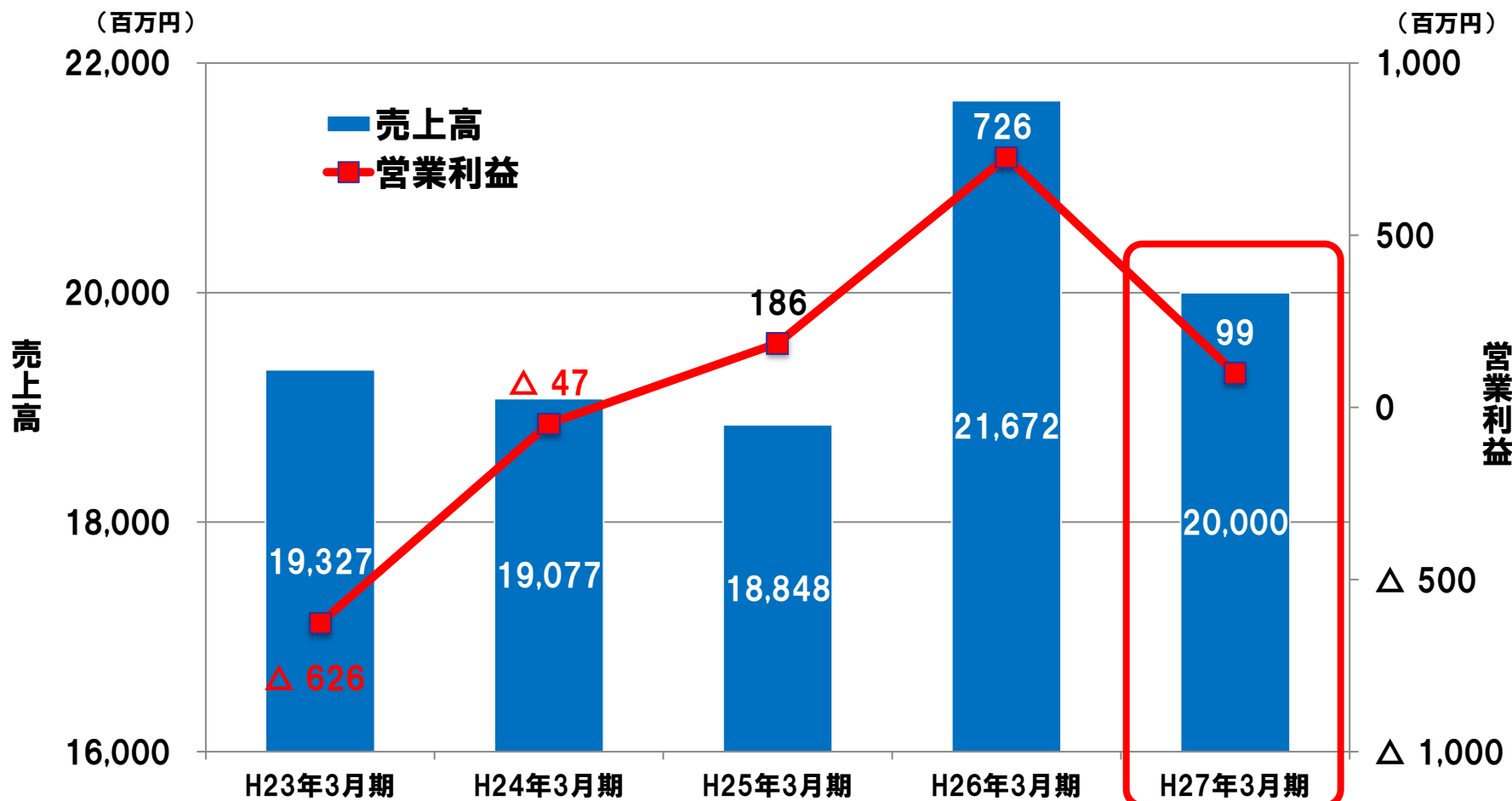
平成27年3月期  
メディカルサービス事業 売上高構成比





## インテリア健康事業 業績概況

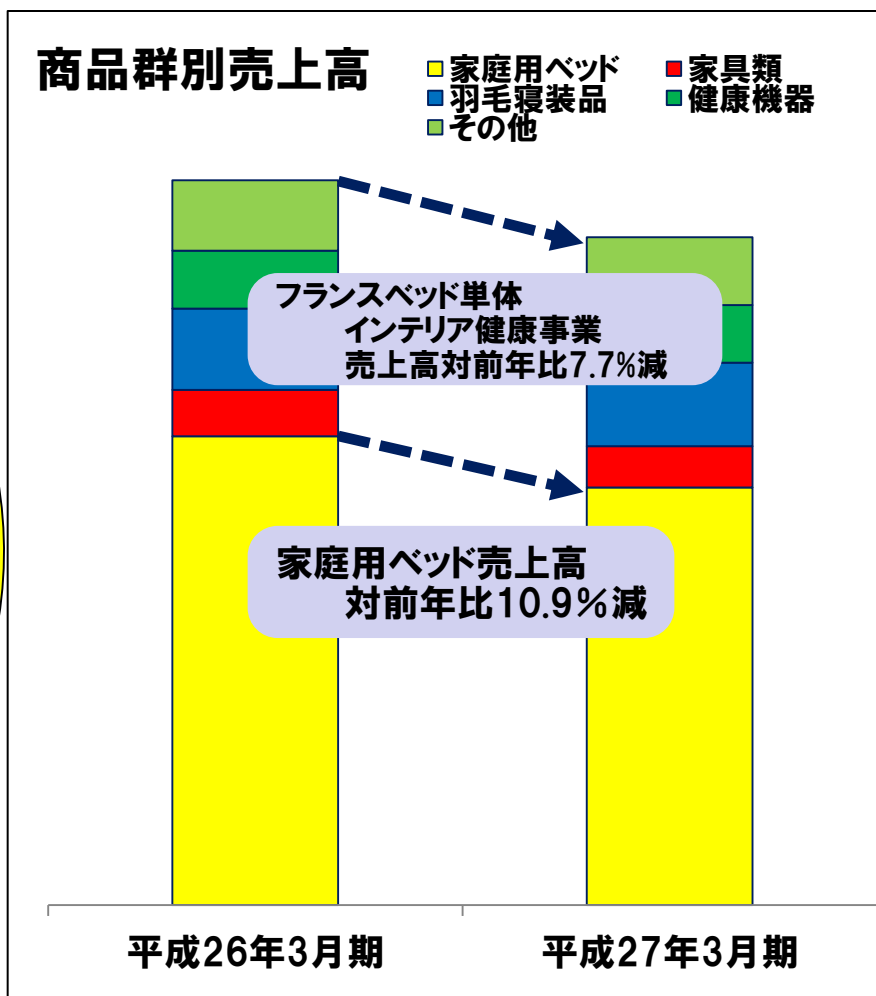
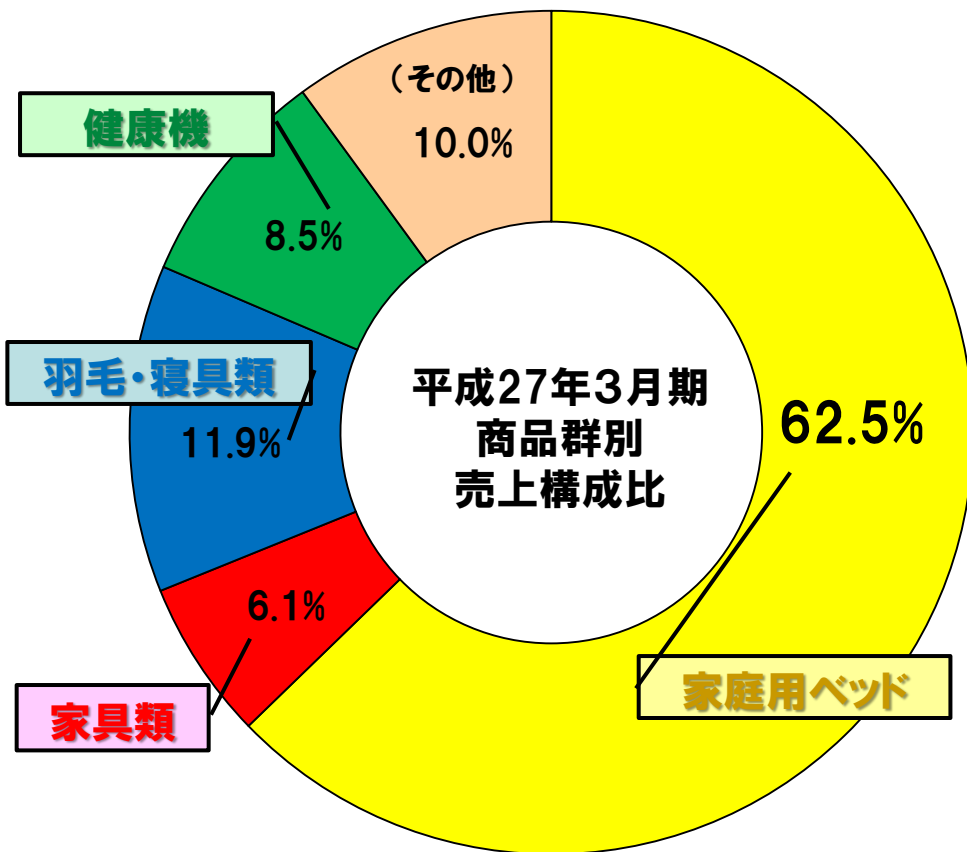
### 業績推移



**売上高、営業利益ともに前年同期比減**

# フランスベッド(株)単体のインテリア健康事業について

フランスベッド(株)単体インテリア健康事業  
商品群別売上構成



**家庭用ベッド、家具類の減収により、売上高対前年比7.7%減収**

## 連結貸借対照表

(百万円)

		平成26年 3月期末	構成比	平成27年 3月期末	構成比	増減額
資産の部	流動資産	32,988	55.5%	30,843	51.9%	△2,145
	固定資産	26,387	44.3%	28,505	47.9%	2,118
	資産 合計	59,443	100.0%	59,409	100.0%	△33
負債の部	流動負債	16,539	27.8%	13,524	22.7%	△3,014
	固定負債	7,381	12.4%	8,597	14.4%	1,216
	負債 合計	23,921	40.2%	22,122	37.2%	△1,798
純資産の部	株主資本	35,638	59.9%	34,871	58.6%	△766
	その他の包括利益累計額	△115	△0.2%	2,415	4.0%	2,531
	純資産 合計	35,522	59.7%	37,287	62.7%	1,765
負債及び純資産 合計		59,443	100.0%	59,409	100.0%	△33

### 連結貸借対照表の状況 (連結総資産は前期末比33百万円減少し、594億9百万円)

- ・内訳は負債の部で前期末比17億98百万円減少し、221億22百万円、
- ・純資産の部で前期末比17億65百万円増加し、372億87百万円。
- ・自己資本比率は前期末の59.7%から、62.7%に上昇。

## 連結キャッシュ・フロー(CF)の状況

(百万円)

	営業活動によるCF	投資活動によるCF	財務活動によるCF	現金及び現金同等物増減額	現金及び現金同等物期首残高	現金及び現金同等物四半期末残高
平成26年3月期	3,241	△2,550	△2,165	△1,473	11,584	10,024
平成27年3月期	4,216	△3,501	△1,026	△312	10,024	9,712
前期末比較	+974	△951	+1,139	+1,160	△1,559	△312

### ①連結CFの状況

前期末対比 現金及び現金同等物残高が3億12百万円減少、97億12百万円となる。

### ②営業活動によるCFの状況 (42億16百万円の収入)

(収入) 税前純利益 18億90百万円、売上債権の回収14億79百万円、減価償却費(非資金項目) 36億38百万円の計上など

(支出) たな卸資産の取得 4億19百万円、仕入債務の支払い 7億67百万円、確定拠出年金(401K)への拠出 7億89百万円、法人税等の支払い 4億81百万円など

### ③投資活動によるCFの状況 (35億1百万円の支出)

(収入) 投資有価証券の売却 2億44百万円など

(支出) 有形固定資産の取得 33億30百万円、無形固定資産の取得4億31百万円など

### ④財務活動によるCFの状況 (10億26百万円の支出)

配当金の支払額10億70百万円など

# I・平成27年3月期決算概況および 来期(平成28年3月期)の業績見通し

## 設備投資について

(百万円)

		平成26年3月期 通期実績	平成27年3月期 通期実績	平成28年3月期 通期計画
設 備 投 資 額	レンタル資産	2,461	2,690	2,800
	工場生産・物流設備	861	430	670
	ソフトウェアの取得	453	239	1,200
	土地の取得	384	0	—
	その他	147	168	80
	合計	4,307	3,528	4,750
減価償却費		3,609	3,638	3,700

## 主な設備投資実績および計画

### 平成27年3月期実績

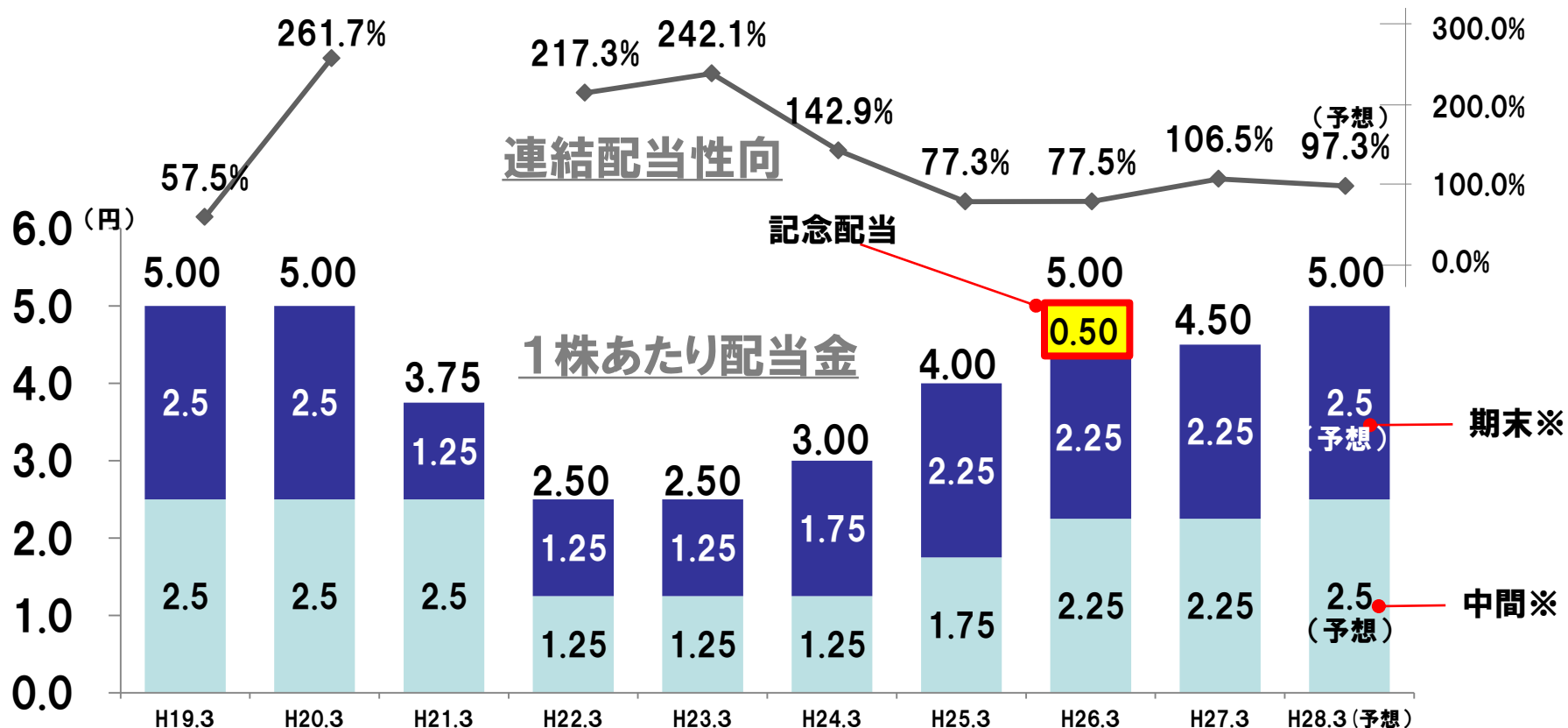
■ レンタル資産:2,690百万円(メディカルサービス事業)(平成26年3月期比+228百万円)

### 平成28年3月期通期計画

■ レンタル資産:2,800百万円(メディカルサービス事業)(平成27年3月期比+110百万円)

## 配当について

### 1株あたり配当金と連結配当性向の推移



## 安定的な配当を継続

※平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定です。併合を実施した場合の1株あたりの期末配当予想額は12.5円となります。

## 来期(平成28年3月期)の業績見通し

# I・来期(平成28年3月期)の業績見通し

## 平成28年3月期 連結業績見通し

(百万円)

上 期	平成27年3月期 実績 (H26.4~H26.9)	平成28年3月期 上期計画値 (H27.4~H27.9)	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	24,949	25,500	550	2.2%
営業利益	802	940	137	17.2%
経常利益	799	910	110	13.8%
当期純利益	372	520	147	39.7%

(百万円)

通 期	平成27年 3月期実績 (H26.4~H27.3)	平成28年 3月期計画値 (H27.4~H28.3)	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	51,907	53,500	1,592	3.0%
営業利益	1,723	2,200	476	27.6%
経常利益	1,745	2,150	404	23.1%
当期純利益	904	1,100	195	21.5%



# 平成28年3月期 セグメント別業績見通し

上 期 (百万円)		平成27年3月期実績	平成28年3月期計画値	前年比増減額	前年比増減率
メディカルサービス事業	売上高	13,406	<b>14,110</b>	704	5.2%
	営業利益	722	<b>825</b>	103	14.2%
インテリア健康事業	売上高	9,845	<b>9,710</b>	△35	△1.3%
	営業利益	72	<b>110</b>	38	52.7%
その他	売上高	1,697	<b>1,680</b>	△17	△1.0%
	営業利益	△7	<b>△10</b>	—	—
調整額	売上高	—	<b>—</b>	—	—
	営業利益	14	<b>15</b>	1	7.1%
合 計	売上高	24,949	<b>25,500</b>	551	2.2%
	営業利益	802	<b>940</b>	138	17.2%

通 期 (百万円)		平成27年3月期実績	平成28年3月期計画値	前年比増減額	前年比増減率
メディカルサービス事業	売上高	28,397	<b>29,650</b>	1,253	4.4%
	営業利益	1,662	<b>1,780</b>	118	7.1%
インテリア健康事業	売上高	20,000	<b>20,240</b>	240	1.2%
	営業利益	99	<b>320</b>	221	223.2%
その他	売上高	3,508	<b>3,610</b>	102	2.9%
	営業利益	△66	<b>45</b>	111	—
調整額	売上高	—	<b>—</b>	—	—
	営業利益	28	<b>55</b>	27	96.4%
合 計	売上高	51,907	<b>53,500</b>	1,592	3.0%
	営業利益	1,723	<b>2,200</b>	476	27.6%

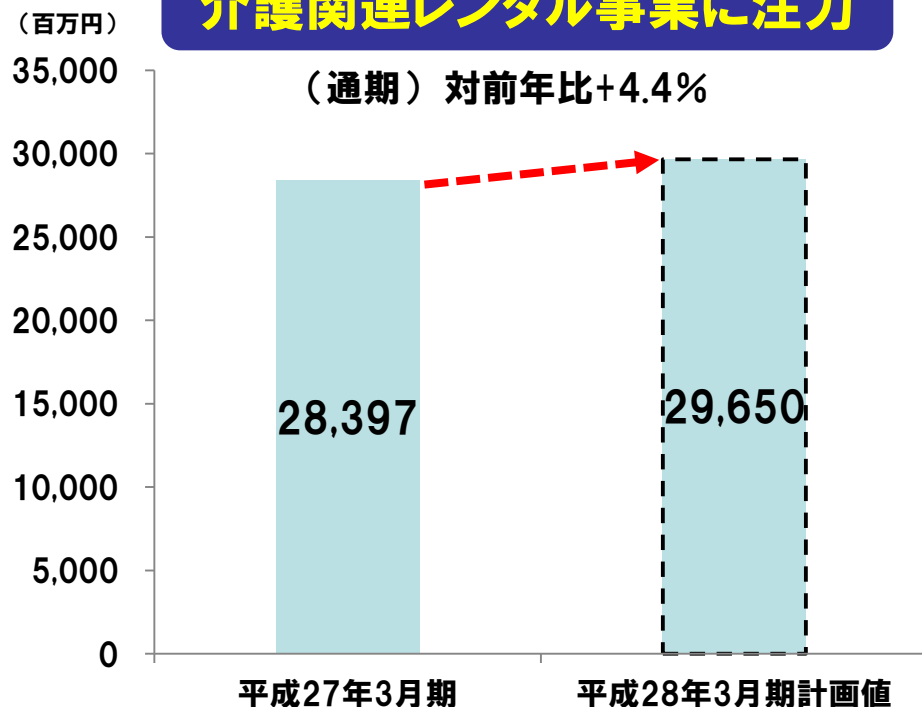
## メディカルサービス事業の業績見通し

# I・来期(平成28年3月期)の業績見通し

## メディカルサービス事業

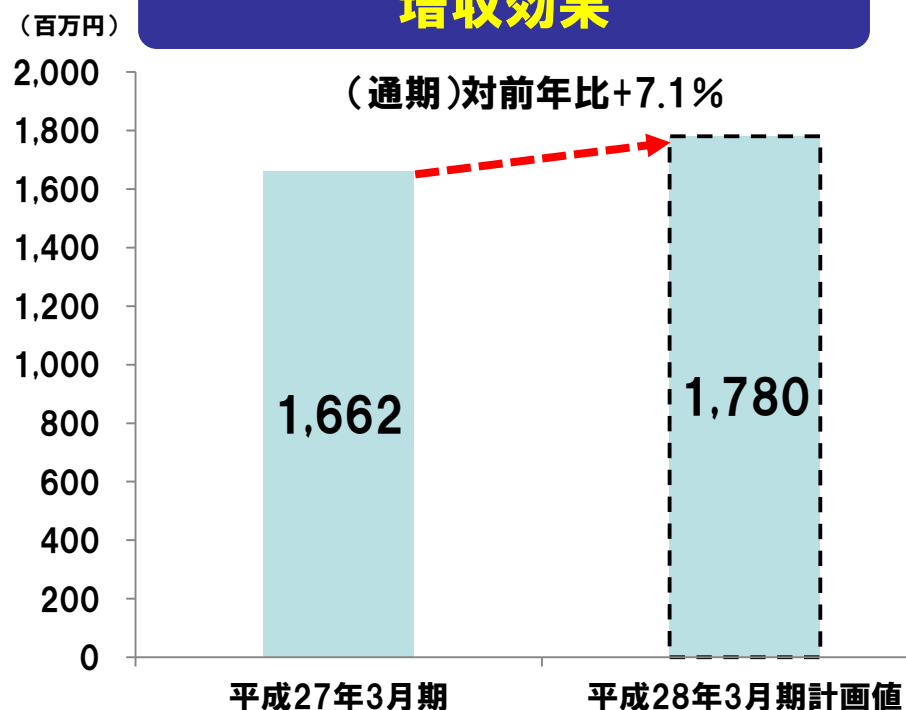
### 売上高

市場の拡大が見込まれる  
介護関連レンタル事業に注力



### 営業利益

介護関連レンタル事業の  
増収効果



平成28年3月期計画

売上高: 29,650百万円 (対前年4.4%増)

営業利益: 1,780百万円 (対前年7.1%増)

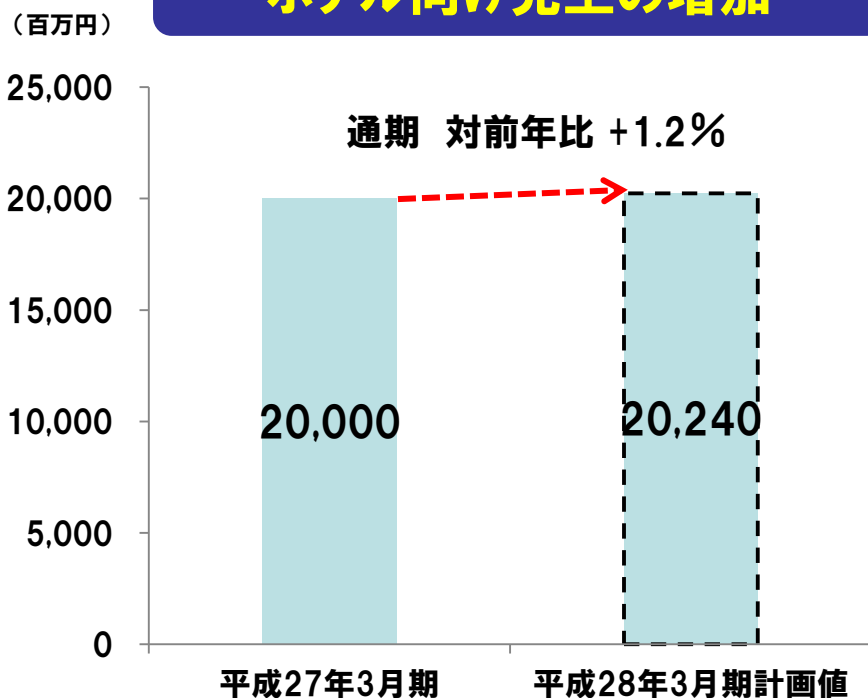
## インテリア健康事業の業績見通し

# Ⅰ・来期(平成28年3月期)の業績見通し

## インテリア健康事業

### 売上高

新商品の投入や、  
ホテル向け売上の増加

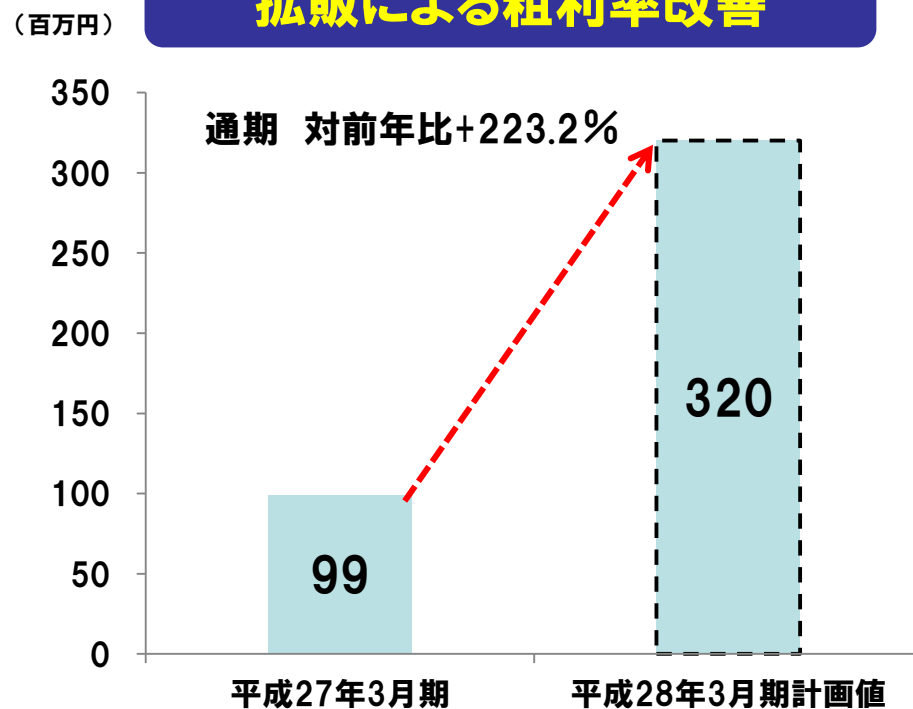


平成28年3月期計画

売上高: 20,240百万円(対前年1.2%増)

### 営業利益

高機能・高付加価値商品の  
拡販による粗利率改善



営業利益: 320百万円(対前年223.2%増)

## II・中期経営計画骨子

当社グループを取り巻く市場環境について

当社グループの強み

当社グループが目指すべき姿

中期経営計画の基本方針

中期経営計画 数値目標

## 当社グループを取り巻く市場環境について

### メディカルサービス事業

- ✓ 「地域包括ケアシステム」構築の推進
  - ・地域における在宅医療・介護の連携が強化
  - ・在宅や施設での介護サービスの重要性が高まる
- ✓ 「費用負担の公平化」が図られる
  - ・一定以上の所得のある利用者の自己負担割合を2割へ引き上げる※本年8月より
- ✓ 介護給付費の抑制圧力が強まる一方で、今後の福祉用具に対するニーズは、
  - ①在宅介護の重要性の増加
  - ②認知症高齢者や中重度の要介護者の増加
  - ③介助者の不足

などの理由によって、介護を受ける側、介護をする側双方で増加していく。

⇒福祉用具貸与事業のパイオニア企業として、また、福祉用具のメーカーとして市場に最も近い位置で築き上げてきたノウハウを活用して新製品を開発。

## 当社グループを取り巻く市場環境について

### インテリア健康事業

- ✓ 国内のインテリア市場は、家具購買層の減少や、大手製造小売業者(SPA)の寡占化などにより、成熟化が更に進む可能性がある。



- ①「『量から質』への転換」と、
- ②「他社との差別化を図る」ことによって、  
安定的な収益を確保できるビジネスモデルを構築していく必要がある。

⇒良質な眠りや自らのライフスタイルにこだわりを持っている消費者に対して、  
個性的で競争力のある商品を、家具販売店を経由した受注生産方式で対応し、  
在庫の削減と利益率の改善を図っていく。



### 当社グループの強み

- ✓ 介護レンタル事業の**パイオニア**
- ✓ **全国に展開**する拠点網
- ✓ 「フランスベッド」の**ブランド力の高さ**
- ✓ 市場のニーズに合致した**商品開発力**の保持
- ✓ **健全な財務体質**

### 当社グループが目指すべき姿(ビジョン)

人々が生き生きと暮らせる高齢社会に向けて、常に先進的で  
独創的な商品・サービスを提供し続けることによって社会に  
貢献し、潤いのある生活の実現を提案していく企業

## 中期経営計画の基本方針

本格的な高齢社会で求められるニーズに対応するため、  
グループが保有する経営資源を集中させ、  
シルバービジネスの更なる強化と  
積極的な展開を図ることにより、  
**「グループ総体としての企業価値の最大化」**を目指す。

## II・中期経営計画骨子

### 中期経営計画 数値目標

# 平成28年3月期－平成30年3月期(3ヶ年) 中期経営計画(連結)

(百万円)

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 計画	平成30年3月期 計画
売上高	51,907	53,500	57,800
営業利益	1,723	2,200	3,450
経常利益	1,745	2,150	3,400
当期純利益	904	1,100	2,000
1株当たり当期純利益(円) (注)	21.1	25.6	46.6
自己資本当期純利益率 (ROE)	2.4%	2.9%	5.1%

(注)平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施した場合の金額。

## II・中期経営計画骨子

# 中期経営計画 数値目標

## 平成28年3月期－平成30年3月期 中期経営計画(セグメント別)

(百万円)

		平成27年3月期 実績	平成28年3月期 計画
メディカルサービス 事業	売上高	28,397	29,650
	営業利益	1,662	1,780
インテリア健康 事業	売上高	20,000	20,240
	営業利益	99	320
その他	売上高	3,508	3,610
	営業利益	△66	45
調整額	売上高	—	—
	営業利益	28	55
合 計	売上高	51,907	53,500
	営業利益	1,723	2,200



平成30年3月期 計画
32,850
2,950
21,200
440
3,750
40
—
20
57,800
3,450

## Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

代表取締役社長 池田 茂

中期経営計画の成長戦略

中期経営計画の資本政策・株主還元

## 中期経営計画の成長戦略(全体戦略)

### ①得意分野の強化

- ✓ 福祉用具貸与事業を中心とした介護事業の深耕

### ②新たな収益機会の獲得

- ✓ 介護保険制度に過度に依存しない収益基盤作り

### ③安定的に収益を確保できるビジネスモデルへの転換

- ✓ インテリア健康事業の収益性の改善

### ④経営基盤の強化

- ✓ 人材育成
- ✓ コーポレートガバナンスの強化

### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

## ①得意分野の強化

✓ 福祉用具貸与事業を中心とした介護事業の深耕

## 新商品の投入による福祉用具貸与事業の拡大

介助者や認知症患者に向けた商品や、他社にない(真似できない)商品の開発を強化



介助者支援の車いす  
「SP40K」

万一ベッドから落ちてこの低さ  
「超低床フローアーベッド」

TV CM  
放映中



シンプルで軽快なデザイン  
の電動三輪車いす  
「スマートパル」

**利用者はもちろん、介助者に対しても優しい商品を開発**

### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

**利用者はもちろん、介助者に対しても優しい商品を開発**

**「前にも転ばず、後ろにもひっくり返らない」**

**転ばない車いす**

**他社に真似の出来ない、今までに無い商品**

**世界初 車いすからの転倒事故を防ぐ新機構**



リハテック  
*Reha tech*

タイヤ向きが内側だと・・・

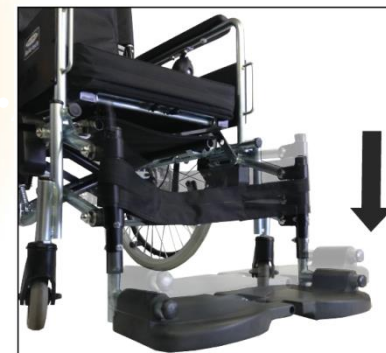


危険!

通常の車いすは、足置きの上に立つと前方に倒れてしまい大変危険です。



足置きに荷重がかかっても車体は傾かず安定した状態を保てる構造。立上ると同時にブレーキが機械的に作動。



**【ターゲット】認知症・脳疾患の方 介護従事者  
【販路】在宅・病院施設**



### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

**利用者はもちろん、介助者に対しても優しい商品を開発**

**1台何役もこなせる新発想の車いす 今までに無い商品**  
**マルチファンクションリフトアップチェア(MF-01)**

リハテック  
**Reha tech**



**施設や家庭で介助者の介護作業を軽減**

**高齢者の立ち座りもサポート**

**移動が可能なのでこれ1台で寝室、リビング、ダイニングで使える昇降チェア**

車椅子のように、使用者を座らせたまま移動し、リフトアップチェアとしても使える。リクライニングチェアやダイニングチェアとしても使用可能。  
バッテリー式で移動場所を選ばない。

**平成27年6月1日発売**

**【ターゲット】自立を目的とした方**  
**【販路】在宅施設向け**



### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

**利用者はもちろん、介助者に対しても優しい商品を開発**

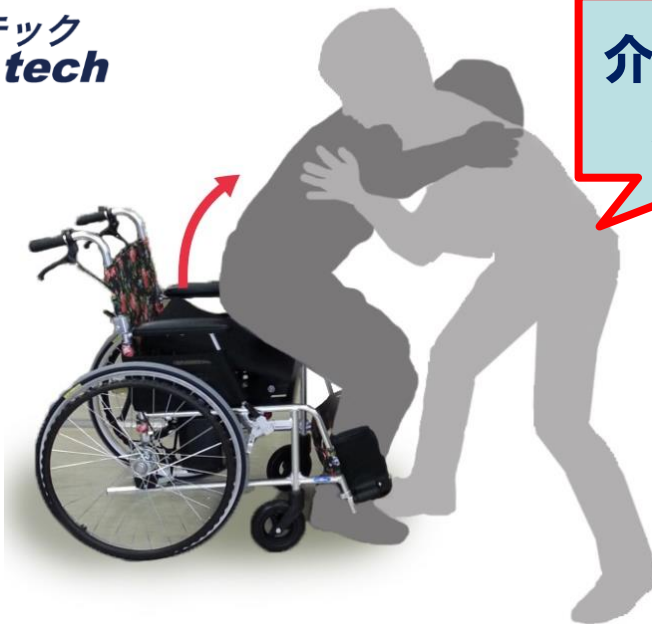
**介助者の腰痛対策をサポート  
電動リフトアップ車いす**

今までに無い商品

電動リフトアップ機構を当社資産の  
レンタル用標準型車いすに後付けし、有効活用



リハテック  
*Reha tech*



介護労働での  
腰痛対策



【ターゲット】介護従事者  
【販路】在宅・病院施設向け

### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

**利用者はもちろん、介助者に対しても優しい商品を開発**

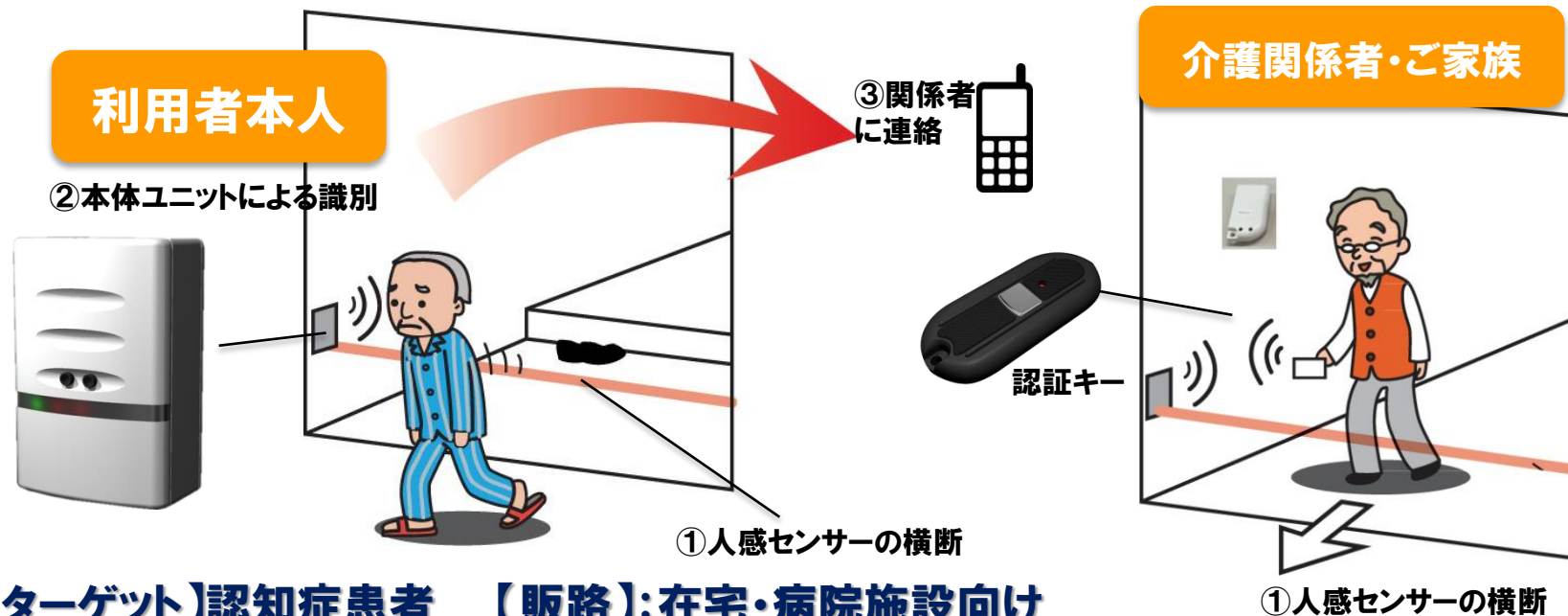
**利用者には何も持たせない。新発想の見守りシステム。  
徘徊防止外出通報システム**

今までに無い商品

**認知症 行方不明者 1万人時代への対策**

利用者には持たせない。利用者と介助者の負担を軽減し、  
利用者の徘徊を感知した際には、即座に介助者へお知らせします。

リハテック  
Reha tech



**【ターゲット】認知症患者 【販路】:在宅・病院施設向け**

### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

利用者はもちろん、介助者に対しても優しい商品を開発

身体を動かさない方の寝ているときの痛みを軽減  
体位変換マットレス(寝返り支援)

新商品

介助者にかわって寝返りを支援

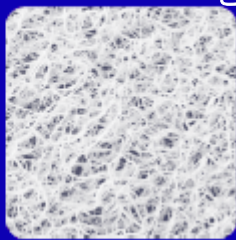
体圧の集中を防ぎ、床ずれリスクを軽減

リハテック  
Reha tech

通気性・除圧性能抜群の新素材  
を採用

三次元スプリング構造体  
プレスエアークストラ使用

**BREATHAIR**  
extra®



【ターゲット】中重度者向け、ALS※など  
【販路】在宅・病院施設向け



### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

#### ①得意分野の強化

✓ 福祉用具貸与事業を中心とした介護事業の深耕

#### 拠点の拡充による福祉用具貸与事業の拡大

東名阪などの都市部を中心に拠点の拡充を図り、福祉用具貸与事業の基盤を盤石にするとともに、各地域での存在感を高める。

#### 【メディカルサービス事業の営業拠点拡充目標】

平成27年3月末現在

平成30年3月末目標

営業所 74ヶ所



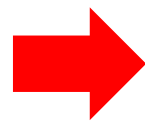
83ヶ所 (+9)

#### 【レンタル・販売代理店の拡充目標】

平成27年3月末現在

平成30年3月末目標

代理店 1,500店



2,000店 (+500)

### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

## ②新たな収益機会の獲得

✓ 介護保険制度に過度に依存しない収益基盤作り

アクティブシニアを対象とした「リハテック」事業の拡大

【当社グループの事業領域と「リハテック」事業のターゲット層】

顧客層	一般	<p>総人口:約1億2,713万人                  高齢者(65歳以上):約3,237万人(総人口の25.4%)                  うち75歳以上:1,576万人(総人口の12.3%)</p>	
		<p>介護保険認定者:598万人                  内受給者約483万人                  (総人口の3.8%)</p>	
		<p>軽度者                  (介護予防サービス)                  約106万人</p>	<p>中・重度者                  (介護サービス)                  約377万人</p>
サービス 主な製品・	<p>ベッド等 インテリア商材</p>		<p>介護福祉用具</p> <p>リハビリ機器・ 在宅医療機器</p>
	<p>リハテック <b>Reha tech</b></p>		

### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

## ②新たな収益機会の獲得

✓ 介護保険制度に過度に依存しない収益基盤作り

## 「リハテック」事業の商品施策

【自社製品に限定せず、他社の商品も広く取込み、商品アイテムを充実させる】



新型電動アシスト三輪自転車  
「ASU-3WT3」



多機能リクライニングベッド  
「エゼックス」



シルバーカー  
「ラクティブ」



マッサージチェア  
貴賓席

アクティブシニアの新ブランド  
リハテック  
**Reha tech**



ハンドル型三輪電動車いす  
「S637スマートパル」



マルチファンクション  
「リフトアップチェア」



光る杖  
「ライトケイン」



### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

## ②新たな収益機会の獲得

✓ 介護保険制度に過度に依存しない収益基盤作り

## 「リハテック」事業の販売施策

【リハテックブランドを販売する直営ショップやコーナー展開で売上を拡大】





### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

#### ②新たな収益機会の獲得

✓ 介護保険制度に過度に依存しない収益基盤作り

#### リハテックショップ／リハテックコーナーの推進

高齢者市場が拡大していく中で、シニアビジネスへの参入を狙う異業種とコラボで展開

ドラッグストア、ガス事業者、家電品等卸・小売店などの新規異業種に対して「リハテックコーナー」を促進し販路の拡大を図る。

リハテックコーナー

現在35店舗にて展開中 今期中60店舗まで拡大予定

### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

## ③安定的に収益を確保できるビジネスモデルへの転換

### ✓ インテリア健康事業の収益性の改善

## 受注生産による多品種対応を推進

サンリオのキャラクター（キティちゃん、キキララ、マイメロディ等）をデザインしたベッドを販売



ハローキティを愛する大人のためのベッド



## 新技術を導入した受注生産対応ベッド



女兒向けキキララベッド



若者向けマイメロディベッド

国内の反響を見て、アジアを中心に海外でも展開予定

### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

## ③安定的に収益を確保できるビジネスモデルへの転換

### ✓ インテリア健康事業の収益性の改善

## 東京五輪に向けたホテル部門の収益拡大

当社独自のホテル用エキストラベッドの「レンタルサービス」  
システムを全国で展開開始（5月28日付け日本経済新聞に掲載）

### インバウンド需要や繁忙期のベッド数確保に

繁忙期など、必要な台数・必要な期間ベッドをレンタルすることができ大変便利です。

### 団体などの受け入れに

団体などの宿泊で、臨時のベッドがまとまって必要となった時の調達に最適です。



### Ⅲ・中期経営計画の主な戦略について

## ③安定的に収益を確保できるビジネスモデルへの転換

### ✓ 安定的な収益を獲得できるビジネスモデルを構築

## 東京五輪に向けたホテル部門の収益拡大



United Kingdom 1919

「スランバーランド」



世界各国の有名ホテルで採用されている、英国王室ゆかりの世界的ブランド「スランバーランド」を日本国内で当社が展開

## ④経営基盤の強化

### ①事業成長のための人材育成

- ✓人材の安定的な確保と育成
- ✓女性社員の活躍を推進

### ②コーポレートガバナンスの強化

- ✓持株会社と事業会社の役割の明確化
- ✓情報開示の充実や説明責任の徹底により企業価値を向上
- ✓独立社外取締役を複数名体制とすることを検討

## 中期経営計画の資本政策・株主還元

### ①成長分野への投資等

- ✓ レンタル資産取得のための投資(毎期25～30億円継続)
- ✓ メディカルサービス事業のシステム更新への投資(16億円:平成28年3月期)
- ✓ 他社とのコラボで商品開発力を強化

### ②株主還元

- ✓ 安定配当を維持
- ✓ 機動的な自己株式の取得を検討

### ③資本効率の改善

- ✓ 自己資本比率50%以上を保持
- ✓ ROEを現在の2%台から3年間で5%以上に改善
- ✓ 受注生産により在庫を削減して、総資産回転率を高める



# 質疑応答

**（問合せ先）**

総務室長 原田正裕 Email: ir@francebed-hd.co.jp

広報課長 黒須和伸 同上

**（将来見通しに関する注意事項）**

本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。

また、要因はこれらに限定されるわけではありません。

- 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M & Aなどの事業展開
- 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化
- 原価低減や設備投資を計画通り実施する弊社の能力
- 新製品を開発し市場へ投入する弊社の能力